

であるにもかかわらず、それに準じた調査をおこなうことが必要と判断し、その必要としない調査期間が3年程度かかることを理由に、鈴木知事は「R認定申請を断念しました。また、岩倉市長と直接話をすることもなく、経済8団体の要望を非公式にしか受け取らなかった知事の判断プロセスにも大きな疑問を感じています。それでも苫小牧市は人口減少と少子高齢化に対応するまちづくりのために、交流人口の増加による地域経済の活性化が必要であることを質問しました。



二 新 多 喜 員 議

★苫小牧駒澤大学のこれからについて、地元学生に魅力ある学部の創設を要望しました。

★妊娠期のお母さんは体のバランス変化で歯周病にかかりやすく、早産・低体重出産のリスクが数倍に跳ね上がることから、妊婦歯周病検診事業を要望しました。

★橋梁長寿命化修繕計画の進捗について、インフラ老朽化が進む中

で19%しか計画が進んでいないことを確認し、次期計画改定時には、計画をより進めるように要望しました。



則 芳 山 員 議

★土砂災害対策について、土砂災害防止法に基づく市の調査状況と対策を確認させていただきました。

★苫小牧市で生まれた子どもたちのために本市で活躍できる環境を整備したいと思い、中小企業創業サポート事業と若者の創業支援について質問し、現状では個人事業

が中心となる小規模企業が多く、高い担税能力を有し、雇用を創出できる企業の創業を促進していくことは難しいことを確認しました。

★意欲や勢いがある若者たちが創業しやすい環境づくりを進めることが街を活気づけると考え、近年一定の効果をあげて注目されているスタートアップ支援を進めることを提案し、本市の特徴や経済・社会環境の変化、時代のトレンドを踏まえた経済政策の展開を進めていくと答弁がありました。

市民派会

桜井 忠 ・ 谷川 芳一



忠 桜 井 員 議



一 芳 川 谷 員 議

■ 一般質問

1. IRについて

- (1) 知事からの報告は。(ない)
- (2) 理由はアセスメントに時間がかかるからか。アセスに時間がかかるのはわかっていたのでは。(道条例でアセスが必要ない開発)
- (3) 市は環境問題を過小評価しているのでは。(十分配慮していた)
- (4) MAプラットフォームはどうか。(現時点では影響は少ない)
- (5) 道は断念ではないと言っているが、可能性のない問題に振り回されるのではないか。(道とまず協議)
- (6) IR抜ききの市発展はどう考える。(当初のものづくりの街と臨空ゾーンを発展させたい)
- (7) 臨時議会まで開き、決議案は慣例を破り多数決で決した。これは正しい前例か。(IR誘致のチャレンジを進める上で大きな決断)
- (8) 今回の責任をどう感じるのか。(これまでの責任は感じている)
- (9) アメリカの事業者が道、市、民

間を訴えることはないのか。(現時点では聞いてない)

2. アイヌ語地名や歴史などの看板設置について

- (1) 苫小牧の由来について。(略)
- (2) 胆振の由来について。(胆振組がどこか確定していない)
- (3) 細石刃について。(人類が日本へ来た・北ルートということを示したい)
- (4) 宮沢賢治について。(看板ではなく市民活動で広めたい)
- (5) 吉田拓郎「落陽」について。(一つの観光資源として発信したい)
- (6) アイヌ語地名について。(小糸井の由来は系井山神社に碑がある)

3. 公職選挙法、政治資金規正法

- (1) 食事代などについて。(消費税は法成立時にはないが納税義務者は事業者、社会と法が乖離しないよう国に申し入れる)
- (2) 茶菓について。(ペットボトルなど法成立時にはないものがある)
- (3) 後援会活動の制限について。(選挙類似行為は制限される)
- (4) 候補者の生活費について。(生活費の項目はない、議員の成手確保の見地から関係機関に意見する)